【具体的対応方針に関する補足】岩手県立宮古病院の許可病床削減について(岩手県医療局)

1 概要

患者数の減少により休止してきた県立病院の病床について、「岩手県立病院等の経営計画 (2025-2030)」の開始にあたり、全県的に整理することとしており、県立宮古病院について も、令和6年度末に、休止中の91床の許可病床を削減するもの。

2 削減対象の病床について

既に休止している病床<u>(病床機能報告で「休棟」としていた病棟(急性期35 床、回復期36</u> <u>床)と、現在稼働していない急性期の病床20 床の計91 床)</u>であり、患者受入れへの影響はなく、過剰となっている急性期を若干削減するものであり、地域医療構想の方向性にも沿った対応であること。

病床種別 R6 年度末見込	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	320			10	4	334
	稼働	229			5	4	238
	非稼働				5	0	5
	削減病床数	91			0	0	91

病床機能		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計
	R 6 報告		229	0		91	320
	R7見込		229	0			229

※結核病床(10床)、感染症病床(4床)は病床機能報告の対象外。